



# 発達障害って？

発達障害は、生まれつき脳の一部の機能になんらかの不具合があり、成長や発育にアンバランスが生じたため、行動や情緒に偏りがみられるものです。

発達障害には、自閉症、アスペルガー症候群、注意欠如多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）などいくつかのタイプがあります。これらの障害によって、生活のしづらさを感じている人たちがいます。年齢を重ねるにつれ、症状が目立たなくなる人もいれば、おとなになってから診断を受ける人もいます。

## 特性は人によってさまざまです。

いくつかのタイプの特性が少しずつ重なりあっている場合も多く、「診断名どおり」という人はほとんどいません。障害の程度や環境などによっても症状はさまざまであることから、私たち誰もがもっている個性の延長線上にあると考えるのが自然でしょう。



### それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

**自閉症**

※ 広汎性発達障害

**アスペルガー症候群**

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 手先が不器用

### 注意欠如多動性障害 (ADHD)

- 不注意
- 多動・多弁
- 衝動的に行動する



### 学習障害 (LD)

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手



出典：厚生労働省ホームページより引用、一部改変

※最近では「広汎性発達障害」にかわり「**自閉症スペクトラム障害 (ASD)**」という診断名が使われています。